

# 参議院選挙——日本共産党は3議席

## 比例2議席確保、東京・吉良氏が勝利

暮らしと平和守り、差別・分断を許さない日本へ、さらに全力で奮闘します

2025年7月21日 日本共産党千葉県委員会

20日に投票された参議院選挙で、日本共産党は改選7議席（比例4、選挙区3）から3議席（比例2、選挙区1）に、比例の得票は、286万4738票（4.8%）でした。選挙区では、東京選挙区の吉良よし子氏の議席を確保しました。千葉県では、比例で13万704票（4.54%）を獲得。千葉選挙区は、白石ちよ候補が13万5751票（4.79%）を得て健闘しましたが議席には及びませんでした。また、藤本真人比例代表候補が県内各地で党への支持を訴えて奮闘しました。

日本共産党と候補者に、ご支援とご協力をいただいた皆さんに、心からお礼を申し上げます。

ご期待に答えきれず、後退する結果となったことは痛恨の思いであり、責任を痛感しています。党内外のご意見を聞きながら、総括を深めて、前進・躍進に転ずるために、力を尽くす決意です。

今回の参院選では、昨年の衆院選につづいて自民・公明を過半数割れに追い込みました。その点で、自民党と正面から対決し、国民の立場から対案を示し、市民と野党の共闘発展に力を尽くした日本共産党は、重要な貢献を果たしたと確信するものです。とりわけ32の一人区では、17の選挙区で候補者を一本化し、12人が勝利しました。

参院でも自公過半数割れとなったもとで、野党各党の役割もいっそう問われていきます。今回の参院選では、どの党が伸びれば自民党政治を本当に変えられるか、日本共産党ならではの「五つの値打ち」——①責任ある財源論とセットで消費税減税を訴えている党、②政治の力で大幅賃上げを進める具体策を提案している党、③医療と介護の崩壊を止め、社会保障にこそ予算を優先的にと訴えている党、④外国人を差別し、憎悪をおおる排外主義に断固反対を貫く党、⑤大軍拡にきっぱり反対し、外交の力で平和を築く党——を前面にして訴えました。これらの訴えが、多くの国民の皆さんの願いと響き合い、支持と共感が広がりました。今後のたたかいでも生命力を発揮するものと確信します。

物価高騰対策の消費税減税をはじめ、参院選挙で訴えた公約の実現をめざし、行き詰まった自民党政治を終わらせ、暮らしと平和、人権を守り、排外主義とは断固たたかい、希望のもてる日本へ、さらに全力で奮闘する決意です。みなさんのご支援・ご協力を心からお願いいたします。

日本共産党の比例票の得票数と率		
	得票数	得票率
千葉県	130,704	4.5
全国	2,864,738 (開票率99%)	4.8
千葉県選挙区の得票数・率		
千葉県	135,751	4.8

日本共産党の当選者	
比例代表2人	小池 晃 白川よう子
東京選挙区	吉良よし子

千葉選挙区の結果 (主な政党の候補者)			
	白石ちよ	共産	135,751
当	小林さやか	国民	531,580
当	長浜ひろゆき	立民	500,096
当	石井準一	自民	431,330
	中谷めぐ	参政	405,400
	豊田俊郎	自民	277,723
	山本なつみ	れいわ	186,851
	石塚さだみち	維新	123,104

**ちひ民報** 2025年7・8月号外  
千葉市中央区新千葉 3-16-15  
Tel 043-241-4251 Fax043-241-4243  
日本共産党千葉県委員会の政策を紹介します。